

## 特記仕様書(その2)

### 1. 特記仕様書の適用

本特記仕様書は、志摩市が実施する「長沢野球場等施設改修事業 造成設計業務」に適用する。

### 2. 業務の目的

志摩市長沢野球場（以下、「長沢野球場」という。）および志摩市長沢多目的広場（以下、「長沢多目的広場」という。）は、平成33年に三重県で開催が内定している「第76回国民体育大会（三重とこわか国体）」において、ソフトボール競技（少年男子）の会場として使用を予定している。また、地域スポーツの拠点として、多種スポーツで多くの市民に利用されており、志摩市のスポーツ推進に欠かせない施設となっている。

しかし、長沢野球場及び長沢多目的広場には駐車場が整備されておらず、施設の老朽化が進んでいる。また、長沢多目的広場については手狭であることから、大会開催のみならず、各種スポーツの利用における利便性の向上が求められている。

これらの解消を目的に施設改修設計を行う。

### 3. 造成改修設計（実施設計）

#### 3.1 与条件の確認及び調査

- （1）与条件や計画内容、背景等について監督員の説明により把握し整理する。
- （2）適用設計条件や設計基準の確認を行う。
- （3）関連機関との調整内容の確認を行う。
- （4）現地調査は、三重県設計業務等共通仕様書（以下、「共通仕様書」という。）第6408条第2項(2)に準じて行うものとする。
- （5）対象施設について必要な調査を行うとともに資料の収集を行う。

#### 3.2 実施設計の検討

主な検討事項は以下の通りとするほか、その他詳細については監督員と協議のうえ実施する。

##### （1）長沢野球場

- 1）グラウンド整地に必要な設計を行う。
  - ・グラウンド内の土の入替え，芝の張替え
  - ・暗渠排水の布設替え
- 2）長沢野球場周辺整備に必要な設計を行う。
  - ・駐車場および駐輪場の確保（アスファルト舗装，法面部を拡幅）

- ・バックネット及び内外野フェンスの改修
- ・両翼防球ネットの設置
- ・スコアボード、バックスクリーンの改修  
電光掲示板とする場合は、監督員と別途協議とする。
- ・野球場から下水道への流入

3) 必要な小構造物、付帯構造物等の設計を行う。

## (2) 長沢多目的広場

1) グラウンド整地に必要な設計を行う。

- ・グラウンド内の土の入替え
- ・暗渠排水の布設替え

2) 長沢多目的広場周辺整備に必要な設計を行う。

- ・水道配管の布設替えおよび水道タンク施設の要否検討
- ・バックネットの改修
- ・防球ネットの設置
- ・倉庫、トイレ、花壇、ベンチ等の解体（樹木の一部移植）

3) 長沢多目的広場の拡張に必要な設計を行う。

- ・拡張にあたっての対象施設は以下とする。

ソフトボール場（両翼 76.20m以上）

少年用サッカーコート 2 面（68m × 50m）

大人用サッカーコート 1 面（100m × 68m）

陸上トラック 等々

- ・長沢野球場と長沢多目的広場との行き来が容易となる動線の確保（2箇所）

4) 必要な小構造物、付帯構造物等の設計を行う。

### 3.3 実施設計図の作成

実施設計の検討結果に基づき、工事発注に必要な各種設計図を作成する。また、図面を作成するうえで設計の適正を確認する。

### 3.4 数量計算

「共通仕様書」第 6408 条第 2 項(12)に準じて行う。

### 3.5 概算工事費算出

実施設計図に基づき、工種別に概算工事費を算出し、工種別内訳書にとりまとめ、また積算の明細が必要な場合は、その根拠を明らかにすることをいう。

### 3.6 実施設計説明書の作成

「共通仕様書」第 6408 条第 2 項(14)に準じて行う。

### 3.7 照査

「共通仕様書」第 6408 条第 2 項(13)に準じて行う。

#### 4. 構造物設計

##### 4.1 擁壁・補強土予備設計

「共通仕様書」第 6423 条に準じて行う。

##### 4.2 逆 T 式擁壁詳細設計

予備設計で決定された構造形式について、「共通仕様書」第 6424 条に準じて行う。

逆 T 式擁壁は想定であり、擁壁予備設計にて決定された形式と異なる場合は監督員と別途協議とし、適切な措置を講ずるものとする。